

輝

— かがやく —

令和3年6月29日(火) NO. 1

『 夢を諦めない — 「ねぶた師」北村麻子 』

ねぶた師の父をもつ北村麻子。将来何になりたいという夢をもっておらず、中学生、高校生になっても夢は見つからなかった。高校を卒業後、色んな仕事をしたり習い事に通ったりしたが、どれも長くは続かなかった。そんなある日、父の「ねぶた大賞」受賞をきっかけに、麻子はねぶた師になるという夢を叶えるために奮闘する。強い意志をもって日々努力を重ねた結果、ついにねぶた師になるという夢を実現させる。

一人の女性の、夢を実現させるために強く、たくましく生きる姿から、夢を叶えるために大切なことは何か、自分なら夢をかなえるためにどのような行動をするかについて考えました。



～ みんなの学び ～

◇必死にやっていると結果につながってくるということが分かりました。なので、夢や目標を叶えるには努力して、苦しいことがあっても決して折れないことが大切だと思いました。

◇一度だけがんばるのではなく、少しずつ積み重ねが夢を叶えるのに大切だと思います。なので、私は前のテストでもう勉強をやめにするのではなく、これからのテストに向けた勉強を続けていきたいです。

◇前までは「あきらめなければ、夢は叶う」という言葉を全然信用していなかったけど、今日の話聞いてあきらめない気持ちって大事だなと思いました。私も麻子さんのように努力し、あきらめない気持ちを高めていきたいと思いました。

◇夢は努力したり自分を信じたりすることで、あきらめずに続けることができ、頑張ることができること分かりました。その夢に本気になって取り組むことで継続でき、叶えることができるので、私も自分に自信をもって、最後までがんばりたいです。

◇親に否定されるのが嫌で将来の夢を言っていなかったけど、親の意見を怖がってビビっているようでは、本気で夢を叶えようとしている人に失礼だなと思いました。

◇夢を叶えるために、努力したり意志をもって頑張ったりすることが大切だと分かりました。そして、私もそのようにして色々なことに挑戦してみたいと思いました。

◇夢を見つけることはとても難しく、初めて見つけた夢には、最後まであきらめない心と、自分自身のやる気がとても大切なんだと分かりました。

◇途中で夢を放棄せず、最後まであきらめずに夢を叶えた麻子さんのように、僕も決してあきらめず、目の前のことに向き合っていきたい。「あきらめなければ、夢は叶う」まさにその通りだと思った授業だった。

◇「自分は絶対にできない」みたいな自信がない言葉をしゃべるんじゃなくて、「自分は絶対できる。なぜなら今までたくさん努力してきたから」などの前向きな言葉や行動をするといいと思いました。

◇夢というものはそう簡単には叶わないものだと分かりました。色々な努力をしてきた者が夢が叶えられる時もあると分かり、意味のある努力をしないといけないと分かりました。

◇あきらめなければ夢は叶うという言葉聞いて、自分に自信がもてました。まだ、夢は完璧に決まっていないけど、この言葉を胸に夢に進んでいきたいです。

～ 中学校の“道徳”とは ～

☆ 自己を見つめる時間

☆ 仲間と語り合い、より良い生き方を考える時間

☆ 豊かな心を育む時間

みなさんは“自分”をどんな人間だと思っていますか？ 長所は何ですか？ どこか改めたいことはありますか？ どんな人間になりたいですか？

このような事を考えるのは、難しいですね。でも、自分の心の奥に迫り、仲間とともに考えを深めていく中で、今まで気が付かなかったことが見えてきて、より良い方向へ変わりたいという感情が湧き出てきます。そうすることで、心がどんどん豊かになっていくのです。

根上中学校生の仲間入りを果たしたみなさんは、大地に植えられた一粒の小さな種です。毎日の学校生活の中で、色々な経験や失敗をしながら、根を伸ばし、栄養を吸収していきましょう。色々な人の考え方や行動を知り、自己と対話し、より良く生きるために道徳の時間はあるのです。これからも道徳の時間で学んだことを、日常生活に生かしていきましょう。